広告

◎石狩随想 75

心の恵みを運んだ海流
～輪島市を訪ねて～

万葉に沖つ島と詠まれた舳倉島、奥津比咩を崇める北九州文化は、対馬海流のぶつかるこの地にたどり着いた。古代には倭島と称され、海流のもたらした大陸との文化・経済遺産を伝世古した輪島の人々。日本海交流の要所として栄え、近世、北前船の運んできた俵物を扱う交易地であった。海流は日本海物流の澪としての役目をもっている。そのことが、友好都市として新たな交流が始まる所以と言える　▼御神乗太鼓は、恐ろしい形相の面をつけ、一つの太鼓を数人で打ちたたく。戦わずして集落を守り抜いた気迫は、400年後の現代においても私たちの心を揺すぶる。その一方、町中の足湯場での会話、作法、効能を、4～5人の常連と思しきご婦人から同時に受ける。まるで人恋里に入ったようだ。急な立ち寄りとみて、タオルの心配までしていただいた。「よー遠くから来なんさった、ありがとう」同じ言葉は市内パレードでも角角でかけられた。石狩流星海の踊り手たちは、温かな励ましに応えて、いつにも増してサケのように海面を跳ねた。海流は静かに今日も動いている。

（市長）

まちの情報はインターネットテレビでもぜひチェックしてください！　えりすいしかりネットテレビ　http://www.i-eris.tv/

■編集・発行／石狩市企画経済部市長政策室秘書広報課　〒061-3292　北海道石狩市花川北6条1丁目30番地2　Tel.0133-72-3145　Fax.0133-74-5581　■制作／株式会社キューブコーポレーション　【ホームページ】http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/　【携帯電話用HP】http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/k/　【Eメール】hisyokoho@city.ishikari.hokkaido.jp　■印刷・製本／株式会社アイワード
この広報紙は再生紙を使用しています。また、印刷インキは、大豆を利用した植物油インキを使用しています。